

学年  
通信

# 魂知輪

令和6年9月26日  
第 25 号  
小代中学校3年生  
発行者:梅谷俊平

## 賀志子? 榎子? ...人の名前じゃないの?

長袖シャツを着て登校する人もちらほら、涼しくなってきたなと感じる時間が増えてきました。ですが、まだまだ暑いと思う私はしばらく半袖で過ごすのかなと思っております。最近通信が無沙汰になっておりました。ここ数日を凝縮してお伝えしようと思っております。

道徳の時間に「元さんと二通の手紙」というお話を読んで、色々考えました。公開授業ということもあり、他の先生方もたくさん見に来られました。やはり、3年生は見られている時は力をいつも以上にだせるんだなあ、と感心しました。

今の時代は、手紙を書く、というよりもメールを送る、LINE を送るといほうが何かを伝える手段としては効率も良く、手取り早いのです。ですから、手紙の書き方なんて、細かいルールまで知らない、というのも不思議な話ではないと思います。授業の中で、手紙が送られてきたシーンを読みました。

『前略 突然のお手紙で驚かれることと思います。(途中省略) ……一生忘れることは無いでしょう。本当にありがとうございました。 かしこ』

授業の始めに登場人物の確認をしました。『元さん、佐々木さん、子どもたち、かしこさん』次々に登場人物を挙げていく中、なんと「かしこ」さんが登場してしまいました。手紙の最後に「おそれつつむ」という意味の『かしこ』が書いてあったのですが、母親からの手紙&『こ』で終わっていることが人物名と勘違いしてしまったのでしょうか。まさかのスタートに私自身もビックリしましたが、その後はたくさん発表をしてくれました。ありがとうございました。

このような間違い、勘違いは日常生活でもよくあるのではないのでしょうか。少し広めの駐車場には、『月極』という文字が書いてあり、どこに行ってもこの文字がある。『げっきょくさん』が駐車場を支配しているのかな〜、と中学生頃の私は思っていました。意味も違ってれば、読み方すら間違っていた、さらに言えば、『モータープール』と書いてある所もあるものですから、『えっ?泳げるの?』なんて考えたこともあります。

『聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥』ということわざがあります。わからないことは積極的に聞き、調べ、知識をつけていってほしいですね。

## 合同音楽いい感じ!

♪ 埃っぽい大地のドラムに 降る雨が打ちつける  
はじめはささやく小声で それからだんだん大声の調子で ♪

打楽器部隊もいい感じになってきました。村中との合同合唱ということで、人数も多く、パワーアップしています。村中の3年生の歌声に触発された3年生の『やってやるぞ〜!』という思いが、次の日の音楽の授業を受ける姿から伝わってきました。本番までもう少し。終学活でもそろそろ1回ずつ歌っていこうかなと思っています。但馬の代表として兵庫県各地から集まる中学生の前で披露します。良い作品に仕上げましょう。



### 教員になるためには避けて通れない道

## 担任の目

14年前、私も教育実習をしました。母校に帰らず、大学近くの小学校、中学校にお世話になり、右も左も分からない状態で実習をしたことを今でも覚えています。(部活指導をしたことしか覚えていませんが) 授業をすることの難しさを初めて知り、生徒はこんなことを考えていたのか〜、と思いつくばかりでした。今は坂本先生が教育実習に来られています。どうやらうまく説明できるかなあ、と毎日遅くまで研究をされています。みなさんが坂本先生と話している姿を見て、だいぶ打ち解けてきたかなと見ていて感じます。あと1週間ですが、来週には道徳の授業もしていただきます。先生の緊張を少しでもほぐすことができるように、みなさんの一生懸命な姿を見せてください。